

露地ナスの土着天敵を維持する栽培体系（宮崎大学）

《天敵温存植物を植えて、土着天敵の働きを強化》 ポイント

- オクラ真珠体は、アザミウマ類の有力な捕食性天敵ヒメハナカメムシ類成幼虫の生存率を高める。
- バジル類はヒメハナカメムシ類 アブラムシ類の有力な捕食性ヒラタアブ類の繁殖能力を高める。



真珠体を摂食吸汁中のヒメハナカメムシ類の成虫（左）と幼虫（右）

オクラが毎日分泌する真珠体は、捕食性天敵ヒメハナカメムシ類の餌となり、生存率を高めます。



天敵に影響の少ない選択性殺虫剤

天敵に影響の少ない農薬（表1、参照）を使用することで、ヒメハナカメムシ類、ヒラタアブ類、カブリダニ類などの土着天敵が畑で働くようになります。

バジル類は開花期間が長く、花粉や花蜜に富むため、ヒメハナカメムシ類やヒラタアブ類の天敵温存植物として有効です。

餌（害虫）が少なくなると、天敵は圃場から姿を消すというのが普通のパターン。しかし、オクラを植栽すると、ナス上でアザミウマ類が少なくても（左図）、ヒメハナカメムシ類はオクラの上で発生し（右図）、露地ナス圃場で安定的・持続的に働きつづけます。

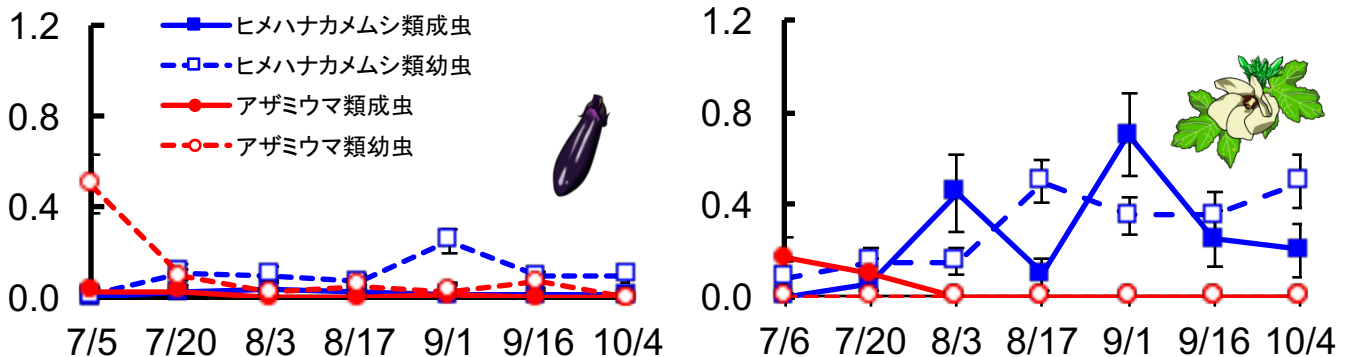


図1. オクラを植えた露地ナス圃場でのアザミウマ類およびヒメハナカメムシ類の発生（2014年）
左：ナスにおける密度推移（個体数／葉）； 右：オクラにおける密度推移（個体数／芽）

表1. 土着天敵の保護を目的とした防除薬剤の例

対象害虫名	薬剤名
ミナミキイロアザミウマ	プレオフロアブル
アブラムシ類	ウララDF
オオタバコガ ハスモンヨトウ	プレオフロアブル プレバソフルアブル フェニックス顆粒水和剤 トルネードフロアブル デルフィン顆粒水和剤 ゼンターリ顆粒水和剤 エスマルクDF
ハダニ類	マイトコーネフロアブル ダニサラバフロアブル スターマイルトフロアブル
チャノホコリダニ	スターマイルトフロアブル オサダン アプロード水和剤
各種病害	ダコニール、フェスティバルC、 ベンレート、パンチョTF、ホライズ ン、トリフミン、コサイド、トップジ ンMなど

土着天敵を保護するために

- ・天敵に影響のある農薬は梅雨入りまで！
- ・梅雨入り後、梅雨明け後は、天敵に優しい選択性農薬(表1)のみを使用

天敵温存植物に関するQ&A

- ・オクラは何株くらい植えますか？
多いほどいいですが、目安としては、ナス株数の10%程度
- ・オクラの手入れや栽培で注意することは？
播種は1か所に3粒程度、ナスと同じように元肥、追肥すると、真珠体が多くなります。また、オクラの株を大きくした方が、天敵の発生は多くなります。
- ・特にお勧めの品種がありますか？
オクラであれば、真珠体は分泌しますが、「まるみちゃん」という品種が真珠体の分泌量は多く、天敵の発生も多いようです。
- ・いつ頃植える？
オクラもバジル類もナスの定植前あるいは定植直後に植えておく方が良さそうです。



図2. 露地ナス圃場でのオクラ植栽例: 圃場の両端や圃場内に植える

農家の声

Aさん: 天敵利用を始めて4年目、何よりも良いところは農薬の散布回数が4分の1くらいに減り、身体的・精神的ストレスがなくなりました。

Bさん: 2年目ですが、初年目から大成功。アザミウマだけじゃなくて、ヨトウムシなどの被害も少なくなったように感じます。生産者にも、消費者にも、財布にも優しい。

Cさん: アブラムシやハダニに悩まされていたけど、発生が少なくなって、殺虫剤の散布もかなり少なくなり、その分楽になったと感じています。高齢だけど、天敵利用ならもう少し、栽培を続けられそう。